

トキと自然の学習館 便り

～4月の出来事～

令和3年4月

VOL.42



できごと
出来事

①

今季初のヒナ誕生



長岡市トキ分散飼育センターで、4月21日に今季初のヒナが誕生しました。10年連続で通算49羽目となります。

このヒナは、3月23日に産まれた卵を29日間親鳥が昼夜抱卵し続け、ふ化したものです。体重は45.5グラムで標準より小さかったため、飼育員により育すう器で数日間育てられた後、親鳥のもとに戻され、すくすく育っています。



生まれたばかりのヒナ

ヒナの成長は早く、ふ化してから40日ほどで巣立ちします。

今までの成長記録によると、ふ化時の体重が59.5グラムのヒナは13日齢で約8倍の500グラムになり、29日齢には体重が20倍以上の1320グラムに達します。

学習館ではヒナが日々成長する様子を大型モニターで見学できます。

立てますよう！(5日齢)

ヒナへの色付け

できごと
出来事

②



(エサをねだるヒナ(緑色)と満腹で眠っているヒナ(黄色))

複数のヒナが巣にいる場合、ふ化した日にあまり差がなかったり、親鳥からの給餌量が違ったりすると、成育状態が日々異なるため、ヒナの区別がつきにくくなります。

そこで、有害な物質を含まないアニマルマーカーペンでヒナに色付けすることで区別して、親鳥から十分に餌をもらえているか観察します。給餌量が少なくなれば、飼育員がヒナを一時的に保護し注射筒でエサを与えます。

兄弟であっても、早く生まれたヒナは大きく強く、他のヒナを押しつけて餌をもらいますが、お腹が満たされればおとなしくなり次のヒナへと順番に親鳥が餌を与えていき皆大きく育ちます。